

式 辞

鳥のさえずり、新緑の木々、色鮮やかな花々、春の陽気が感じられるようになったここ  
広州日本人学校で、小学部53名、中学部16名がこの学び舎を巣立っていく時がきました。  
卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

皆さんは、各学部の最上級生として学校生活の様々な場面で先頭に立って活躍しました。  
そして多くの活動と体験を通して、自ら判断し行動することの大切さとその責任の重要性  
を学びました。皆さんのようなすばらしい児童生徒を卒業生として送り出すことを大変誇  
りに思います。

広州日本人学校の学校教育目標は、「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童生徒  
の育成」です。

「自ら学ぶ」ことは、皆さんがこれからの中学生生活や高校生活など学校生活に限ったこ  
とではありません。人生は一生懸命勉強です。学ぶことは心を豊かにするとともに人生を豊  
かにしてくれます。さらに、これからは今以上に変化の激しい時代がやってきます。社会  
の動きを知り、あふれる情報の中から必要な情報を適切に選び、そして深く探求すること  
が自分自身の未来を切り開くことにつながります。

「個性豊かに」は、一人一人がもっている個性や人間性を大切にしてほしいという願い  
はもちろんのこと、自分の友だちやこれから出会うであろう仲間の個性や人間性も大切に  
し、互いに協力して様々な問題を解決してほしいという願いも込められています。

「国際社会に生きる」とは、単に外国で生活したり働いたりすることや、英語などの外  
国語を話せることではありません。今、私たちの住む社会（地球）は様々な問題に直面し  
ています。そのような問題に常に目を向け、自分に何ができるだろうかと考えることを心  
がけてほしいと思います。私たちは「地球市民」なのです。

皆さんは、幸いにも日本での生活経験だけではなく、中国を含めた外国での生活経験も  
豊富です。日本では気がつかなかったことや疑問に思わなかったこともたくさんあるでし  
ょう。ぜひ、その経験をこれからの自分の人生に生かしてください。

このように、学校教育目標は皆さんがこんな人間になってほしいという願いが強く込め  
られています。この願いを心に刻み、これからの人生を歩んでほしいと思います。

最後に、一つの詩を添えて贈る言葉とします。

「ひとつのこと」

斎藤喜博 作

今 おわる ひとつのこと 今 越える ひとつの山  
風わたる草原 ひびきあう心の歌 桑の海 ひかる雲  
人はつづき 道はつづく 遠い道 はるかな道  
あす登る山を見定め 今 おわる ひとつのこと

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業まことにおめでとうござい  
ます。これまで本校のためにお力添えをいただきましたことに暑く御礼申し上げます。